

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

学校番号	902	学校名	岐阜商業高等学校（定時制）
------	-----	-----	---------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	生徒の多様性を尊重し、生徒の学びを保障する定時制商業高校として 基礎的、基本的な知識や技術の修得を通して 現代社会を生き抜くための資質や能力、課題解決力を有した人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、商業教育を通して「生きる力」を育成し、地域社会に貢献しうる商業人の育成を目指し、特に以下の目標の実現に努める。 1. 普通教育および商業に関する専門教科の基礎学力を着実に習得し、将来にわたって創造を働かせ、進歩向上を図る商業人を育成する。 2. 心身ともにたくましく、強い意志と実践力のある商業人を育成する。 3. 礼儀を重んじ、社会秩序を守り、進んで協力・奉仕する人を育成する。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・商業の実習授業や資格検定の取得を通して、商業に関する技能を主体的に身に付けようとする生徒 ・将来の地域社会の担い手として、礼儀を重んじ、社会秩序を守り、進んで協力・奉仕する生徒 ・自分の適性や興味・関心を見極め、進路実現に向けてチャレンジする生徒 	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業やICTの活用により、生徒の興味・関心を高め、学びの楽しさやわかる喜びを感じる授業の推進 ・3年間での卒業を可能とする三修制と基礎基本の定着、実習と資格検定の取得に重点をおいたカリキュラムの編成 ・自己の存在感を実感し、楽しく仲間と協力して活動できる学校行事や特別活動の推進 	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・本校で学びたいという意志を持ち、仲間と協力して生活できる生徒 ・商業の学習に興味・関心があり、資格取得などに目的意識を持って取り組む意欲のある生徒 ・自分を見つめ直し、働きながら学習することにより、コミュニケーション能力や社会性を身に付けたいと考えている生徒 	

学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力定着のための授業改善 ・人とのつながりや地域活動、文化芸術やスポーツに触れる感性を育む機会の減少によるコミュニケーション能力の低下 ・自己有用感、自己肯定感を育むための各種体験活動等の不十分さ（健康教育におけるスポーツ活動の不十分さを含む）
----------	---

教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	基礎的・基本的な学力の向上	社会の変化に対応できる基礎学力と学び方を身に付ける学習活動の推進
	進路指導	専門的な知識・技術の定着	個々の生徒の興味や適性に応じたきめ細かな進路指導の推進
	生徒指導	主体的に高校生活を送ることができる態度の育成	個々の生徒の特性を把握し、その伸長を自立する力の育成
	安全管理	安全・安心な学校づくりの推進	自他の価値観を認め合う意識の醸成により、自他共に命を大切にできる態度の育成

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	・少人数授業やICTを活用した学習活動を推進し、学習の理解に繋がる指導を展開します。	施策Ⅱ-8	①個々に資格取得目標を掲げ、目標に向かって取り組みます。 ②授業アンケートで、「授業の組み立てが良い」「理解を確かめながら進めている」と答える割合が70%を得られたか。 ③学校評価アンケートで、保護者が「検定対策等の指導を通して、一人ひとりの能力に応じた指導を行っている」と答える割合が70%を得られたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な情報による関心の高さからプロジェクター等、ICTを用いて学習の理解を深められるような指導を展開した。 ・授業アンケートで、①と②に関して、①91→97%、②92→95%という結果で評価指標を達成できた。目標を立てて学ぶ姿勢が身についているようである。 ・課題研究の授業や情報処理などの実技科目の授業を通して、生徒自身が資格取得目標をもち前向きに取り組むことで、年々合格率が上昇している。 ・③84→93% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進捗状況と理解度の振り返りを大切にし、授業の満足度を高めつつ、積極的に学習に向かう態度を育てたい。 ・教科書を読む習慣がなく、なかなか読もうとしない。今後はより一層教科書とリンクした授業構成をしていきたい。 ・資格取得に向かって授業前や放課後を利用して積極的に学習する者が増えている。個々の進捗を大切に指導していきたい。 ・検定学習を通して、自身の学習方法の見直し、生活態度の改善等も見られた。 	A
	・個に応じた資格取得目標を掲げさせ、目標に向かって取り組ませます。	施策Ⅳ-23					
	・外部講師による進路ガイダンスや就職講習会により、仕事に対する認識・理解を深めます。	施策Ⅱ-14					
進路指導	・適切な時期、場面に応じて進路情報を提供し、一人一人の進路希望に応じた個別指導をします。	施策Ⅱ-13	①学校評価アンケートで、生徒が「将来の希望に沿った進路指導を行ってもらえている」と答える割合が70%を得られたか。 ②学校評価アンケートで、「生徒・保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている」と答える割合が70%を超えたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路相談等の個別に生徒と話す機会を多くもち、進路についての情報提供をした。 ・進路のしおりを活用しながら、進路に対する意識を高めた。また、どんな就職、進学に応じてどのような取り組みをすればいいのかを個々に応じて指導した。 ・①86→93%②80→90% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進路選択や就職先、進学先の選択など長い時間をかけて進路指導ができた。保護者とも連絡を取りながら、保護者・生徒ともに希望する進路選択ができていく。 ・進路ガイダンスは夜間ということもあり1回しか実施できないが、少しでも早い段階から進路指導に取り組んでいきたい。 	A
	・教育相談等の機会を通して生徒理解に努め、一人一人を認め高める生徒指導を推進します。	施策Ⅰ-1					
	・学校生活における充実感を実感する特別活動（生徒会行事・部活動等）を推進します。	施策Ⅳ-20					
生徒指導	・正しい知識による食習慣を身に付け、心身ともに健康な生活が望めるよう指導します。	施策Ⅲ-16	①学校評価アンケートで、「清掃活動や施設・設備の点検・管理・修繕等により、環境整備に努めている」と答える割合が70%を超えたか。 ②学校評価アンケートで、「生活安全（防犯・熱中症等）、交通安全、災害安全に関する指導が適切に行われている」と答える割合が70%を得られたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策も含め、匂いなどの衛生面も意識して教室の換気を意識した。また、ロッカーや持ち物の整理整頓について、定期的に取り組んだ。 ・生活安全講話(岐阜北警察署)、性教育講話(助産師)、薬物乱用防止講話(薬剤師・保護司)、人権教育(岐阜協立大学教授)、主権者教育(司法書士)等専門家を招き、講話の機会を多くもった。 ・学校評価アンケートで、①と②に関して、①生徒75→90%、保護者76→84%、②生徒79→98%、保護者82→91%という結果で評価指標を達成できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講話において積極的に外部講師を活用し、専門的な知見を直接生徒に届けるようにした。その場限りでなく、生徒が日常的に気を付けることができるような仕掛け作りが必要であると感じた。 ・ロッカー整理や教室環境、持ち物管理等、学習環境整備に努める姿勢や意識の高まりを大切に、今後も学校全体として取り組む必要があると考える。 	A
	・交通安全、情報モラルを含む生活安全とともに、心の安全教育を大切に指導します。	施策Ⅲ-19					

来年度に向けての改善方策等 ・主体的に高校生活を送ることができる態度の養成のために、教育活動を通して生徒の自己決定を促しながら生徒に対応していきたい。 ・スポーツ活動の不十分さという課題から、地元のプロスポーツチームが活躍するサッカーやバスケットボール等の観戦を校外研修に加えることを検討したい。 ・生徒も職員も、限られた人間関係の中で生活しているため、積極的に外部指導者(講師)を招聘し、普段とは異なる関係から生徒へ知識を提示していきたい。 ・すべての教育活動において個に応じた個別指導を丁寧に行うことができた。今後も、指導だけでなく、生徒自身の困りごとや生活環境、個人の特性に配慮して、特別支援コーディネーターを中心に教育相談や生徒支援を行ってほしい。 ・球技大会や全校でのモザイクアート作成では生徒が運営に積極的に関わることが多くあったので、更に、様々な活動機会を与え、集団での活動経験を積み重ねる支援を行ってほしい。 ・担任が多くの事案を抱えぬよう、組織全体が一貫した指導、対応をして生徒と向き合っていきたい。	実施日：令和8年1月11日
--	---------------

学校関係者評価 ・個を生かす指導がされており、スクール・ミッションにあるように、多様性を尊重した教育活動を、今後も続けてほしい。 ・昨年度の、取り組み(検察庁・裁判所見学)に続き、今年度の、市議会見学、市政説明講話、多分野における講話での学習等、今後も多様な講話、見学の取り組みを継続して欲しい。 ・個性を伸ばす、実業高校としての良さを伸ばすという、ここでしかできない教育を今後も続けて欲しい。 ・今年度の岐阜大学合格のように、少人数による定時制教育を大切に大胆に挑戦し続けていくとよい。	実施日：令和8年2月10日
---	---------------